

1.	①	11.	③	21.	④	31.	④	41.	②
2.	②	12.	③	22.	④	32.	①	42.	②
3.	②	13.	②	23.	①	33.	②	43.	①
4.	④	14.	①	24.	②	34.	④	44.	①
5.	①	15.	①	25.	①	35.	③	45.	④
6.	④	16.	②	26.	②	36.	③	46.	③
7.	②	17.	①	27.	①	37.	④	47.	①
8.	④	18.	③	28.	①	38.	④	48.	①
9.	②	19.	④	29.	④	39.	①	49.	①
10.	②	20.	④	30.	③	40.	②	50.	③

1.

解答 ①

【解説】

正解は①の **store** です。**store** は、動詞として、将来使うために物や情報を「蓄える、保管する」という意味で使われます。**Squirrels store nuts for the winter.** (リスは冬のために木の実を蓄える) のように用います。② **use** は「～を使う」、③ **share** は「～を共有する」、④ **sell** は「～を売る」という意味で、物の扱い方が異なります。

◆補足：store という単語は、名詞としては「店」という意味で最もよく知られていますが、動詞の「蓄える」という意味も非常に重要です。この二つの意味は、「店」が商品を「蓄えて」おく場所であると考えれば、関連性が理解できます。データや情報をコンピュータに「保存する」という意味でも頻繁に使われます。**This device can store a large amount of data.** (この装置は大量のデータを保存できる)。

2.

解答 ②

【解説】

正解は②「現れる」です。**show up** は、人が約束の場所やイベントなどに「姿を見せる、現れる」という意味で使われる口語的な表現です。**We waited for an hour, but he never showed up.** (私たちは1時間待ったが、彼はついに現れなかった) のように使います。①「案内する」は **show around**、③「見せびらかす」は **show off**、④「出発する」は **set off** や **leave** が対応します。

◆補足：show up は、turn up や appear とほぼ同じ意味で使うことができますが、しばしば「(待っていたのに) やっと現れる」とか「(来るはずなのに) 現れない」といった、期待や予定が背景にある文

脈で使われる傾向があります。また、「(隠れていたものが) 現れる、目立つ」という意味で、汚れや特徴などがはっきりと見えるようになる様子を表すこともあります。

3.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を提供する」です。offer は、相手に何かを「差し出す、提供する」あるいは、何かをすることを「申し出る」という意味の動詞です。The company offered me a job in their sales department. (その会社は、私に営業部の仕事を提示した) のように使います。①「～を要求する」は demand や request、③「～を断る」は refuse や decline、④「～を受け取る」は receive や accept が対応します。

◆補足：offer は、offer A B または offer B to A (A に B を提供する) の第 4 文型や第 3 文型の形で使われます。また、offer to do の形で「～することを申し出る」という使い方も非常によくあります。My neighbor offered to help me move the furniture. (隣人が、家具を動かすのを手伝おうと申し出てくれた)。名詞としても「申し出、提案」という意味で使われます。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④「その上、さらに」です。besides は、副詞として、すでにある情報に加えて、別の情報や理由を付け加える際に「それに加えて、その上」という意味で使われます。The hotel is too expensive. Besides, it's far from the station. (そのホテルは高すぎる。その上、駅から遠い) のように用います。①「その代わりに」は instead、②「しかしながら」は however、③「例えば」は for example です。

◆補足：besides と beside は、s が一つあるかないかで意味が全く異なるため、注意が必要です。s のない beside は「～のそばに」という前置詞です (He sat beside me.)。一方、s の付いた besides は、この問題の副詞「その上」の他に、「～に加えて、～以外に」という意味の前置詞としても使われます。Besides English, she can speak French. (英語に加えて、彼女はフランス語も話せる)。

5.

解答 ①

【解説】

正解は①の reserve です。reserve は、将来利用するために、ホテルの部屋、レストランの座席、チケットなどを、あらかじめ「予約する、確保しておく」という意味の動詞です。I'd like to reserve a table for two for tonight. (今夜、2 名でテーブルを予約したいのですが) のように使います。②

occupy は「～を占める」、③ offer は「～を提供する」、④ purchase は「～を購入する」という意味です。

◆補足：reserve と似た単語に book がありますが、どちらも「予約する」という意味で使えることが多いです。一般的に、reserve は場所や席を「確保しておく」というニュアンスが強く、book は航空券や宿泊プランなど、より具体的なサービスや契約を「予約する」というニュアンスで使われる傾向があります。名詞形は reservation（予約）です。

6.

解答 ④

【解説】

正解は④の put aside ～です。この句動詞は、将来の特定の目的のために、お金や物を「取っておく、蓄える」という意味で使われます。She puts some money aside every month for her vacation.（彼女は休暇のために、毎月いくらかお金を蓄えている）のように用います。① give away ～は「～を無料で与える」、② throw away ～は「～を捨てる」、③ use up ～は「～を使い果たす」という意味です。

◆補足：put aside ～の類義語に set aside ～があり、ほぼ同じ意味で使えます。また、この句動詞には「（問題や感情などを）一時的に脇に置く、考えないようにする」という比喩的な意味もあります。Let's put aside our differences and work together.（意見の違いは脇に置いて、協力しましょう）。文脈によってどちらの意味か判断する必要があります。

7.

解答 ②

【解説】

正解は②の departure です。departure は、ある場所から「出発すること」を意味する名詞です。空港や駅の案内表示でよく目にします。Please check the departure time on your ticket.（チケットで出発時刻をご確認ください）のように使います。① transfer は「乗り換え」、③ delay は「遅延」、④ arrival は「到着」という意味で、arrival は departure の直接的な対義語です。

◆補足：departure は、動詞 depart（出発する）の名詞形です。the departure lounge（出発ラウンジ）や the departure gate（出発ゲート）など、空港で使われる複合語を覚えておくと便利です。動詞 depart は leave よりもフォーマルな響きを持ち、公共交通機関の公式なアナウンスなどで使われることが多いです。

8.

解答 ④

【解説】

正解は④「中心街で」です。downtown は、都市の商業やビジネスの中心エリアを指し、副詞として「中心街へ、中心街で」、形容詞として「中心街の」という意味で使われます。Let's go downtown to do some shopping. (買い物をするために、中心街へ行こう) のように使います。①「郊外で」は in the suburbs、②「田舎で」は in the countryside、③「海外で」は abroad や overseas が対応します。

◆補足：downtown は、特にアメリカ英語で頻繁に使われる言葉です。up (上) に対して down (下) という言葉が使われるのは、歴史的にニューヨークの町が南 (down) に向かって発展し、そこが商業の中心地になったことに由来すると言われています。

9.

解答 ②

【解説】

正解は②の worth です。worth は、形容詞または前置詞として、「～の価値がある」という意味を表します。This painting is worth a lot of money. (この絵は大変な金額の価値がある) や、This book is worth reading. (この本は読む価値がある) のように、be worth + 名詞 (金額など) や、be worth + 動名詞 (～ing) の形で使われるのが特徴です。①、③、④はいずれも価値を表す形容詞ですが、このような特別な使い方はしません。

◆補足：worth /wɜːrθ/ は、valuable (価値のある) や precious (貴重な) と異なり、主に述語として be 動詞の後に置かれます。また、be worth ~ing (～する価値がある) の構文は非常によく使われるため、必ず覚えておくべきです。例えば、The museum is worth visiting. (その博物館は訪れる価値がある) のように使います。

10.

解答 ②

【解説】

正解は②「身を固めて落ち着く」です。settle down は、人が結婚したり、家を買ったりして、一つの場所に定住し、穏やかで安定した生活を始めることを指します。After years of traveling, he decided to settle down and start a family. (長年の旅の後、彼は身を固めて家庭を築くことを決心した) のように使います。①、③、④はいずれも settle down とは逆の、活動的・動的な状態を表します。

◆補足：settle down には、この「身を固める」という意味の他に、「(興奮や混乱状態から) 落ち着く、静かになる」という意味もあります。The teacher told the noisy students to settle down. (先生は騒がしい生徒たちに静かにするよう言った)。文脈によってどちらの意味で使われているかを判断する必要があります。

11.

解答 ③

【解説】

正解は③の **politely** です。**politely** は、相手への敬意や良いマナーを示しながら、礼儀正しく振る舞う様子、すなわち「丁寧に、行儀よく」という意味の副詞です。**You should always speak politely to customers.** (顧客には常に丁寧に話すべきです) のように使います。① **rudely** は「失礼に」という対義語、② **loudly** は「大声で」、④ **quickly** は「素早く」という意味です。

◆補足：**politely** は、形容詞 **polite** (丁寧な) の副詞形です。**polite** の語源はラテン語の **politus** (磨かれた) で、「洗練されている」というイメージから「礼儀正しい」という意味に発展しました。反対の「失礼な」は **impolite** で、否定の接頭辞 **im-** がつきます。これらの関連語もまとめて覚えておきましょう。

12.

解答 ③

【解説】

正解は③「知識」です。**knowledge** は、学習や経験を通して得られる情報や理解、つまり「知識」を指す名詞です。**He has a deep knowledge of Japanese history.** (彼は日本史に関する深い知識を持っている) のように使います。①「才能」は **talent**、②「知恵」は **wisdom**、④「情報」は **information** が対応します。これらは似ていますが、**knowledge** は体系化された理解を指すのに対し、**information** は断片的な事実やデータを指すことが多いです。

◆補足：**knowledge** は動詞 **know** (知っている) の名詞形であり、原則として数えられない名詞 (不可算名詞) として扱われます。そのため、**a knowledge** や **many knowledges** のように使うことはできません。「多くの知識」と言いたい場合は、**a lot of knowledge** や **much knowledge** のように表現します。**A little knowledge is a dangerous thing.** (生兵法は怪我のもと) ということわざも有名です。

13.

解答 ②

【解説】

正解は②の **keep in mind that...** です。この表現は、忘れないように「～ということを覚えておく、心に留めておく」という意味で、重要な情報や注意点を念頭に置くよう促す際に使われます。**Please keep in mind that the library will be closed next Monday.** (来週の月曜日は図書館が閉館するということを、心に留めておいてください) のように用います。①「心変わりする」、③「決心する」、④「共通点がある」という意味です。

◆補足：**keep in mind that...** と非常によく似た表現に、**bear in mind that...** があります。意味はほぼ同じですが、**bear in mind** の方が少しフォーマルな響きを持ちます。どちらも、相手に注意を喚起したり、重要な前提を共有したりする際に役立つ便利なフレーズです。

14.

解答 ①

【解説】

正解は①の **client** です。**client** は、弁護士、会計士、デザイナー、コンサルタントといった専門家から、専門的なサービスや助言を受ける「依頼人、顧客」を指します。**The lawyer is discussing the case with his client.**（その弁護士は依頼人とその案件について話し合っている）のように使います。② **patient** は「患者」、③ **guest** は「(ホテルなどの) 客」、④ **customer** は「(店などの) 客」を意味します。

◆補足：**client** と **customer** の使い分けは重要です。**customer** は、店で商品を買う不特定多数の「客」を指すのが一般的です。一方、**client** は、専門家と継続的で、より個別化された関係を築く「依頼人」を指す傾向があります。サービスの種類によって、どちらの単語が適切かが変わってきます。

15.

解答 ①

【解説】

正解は①「余地、空間」です。**room** は「部屋」という意味でよく知られていますが、数えられない名詞（不可算名詞）として、「何かをするためのスペース、空間」あるいは「可能性、余地」という意味で使われることが非常に重要です。**Is there any room for improvement?**（改善の余地はありますか？）のように用います。②「景色」は **view**、③「規則」は **rule**、④「家具」は **furniture** です。

◆補足：数えられる名詞としての **room** は **a room**（一つの部屋）や **two rooms**（二つの部屋）のように使います。一方、数えられない名詞としての **room** は **a** や **s** を付けずに使います。**There is no room for doubt.**（疑いの余地はない）のように、物理的なスペースだけでなく、比喩的な「余地」を表すのにも頻繁に使われます。この二つの意味の違いを理解することが、英語の読解力向上に繋がります。

16.

解答 ②

【解説】

正解は②の **earn** です。**earn** は、労働や仕事の対価として、お金や給料を「稼ぐ、得る」という意味の動詞です。**He works two jobs to earn enough money to support his family.**（彼は家族を養うのに十分なお金を稼ぐために、2つの仕事を掛け持ちしている）のように使います。① **save** は「～を貯める」、③ **win** は「～を勝ち取る」、④ **spend** は「～を費やす」という意味です。

◆補足：**earn** の対象はお金に限りません。努力や良い行いによって、尊敬、評判、権利といった無形のものを「得る」という意味でも使われます。例えば、**earn someone's trust**（～の信頼を得る）や **earn a good reputation**（良い評判を得る）といった使い方です。「働いて得る」というコアのイメージを掴んでおくと、様々な文脈に対応できます。名詞形は **earnings** で、複数形で「収入、所得」を意味します。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①の **relax** です。**relax** は、仕事や心配事から解放され、心身の緊張をほぐして「くつろぐ、リラックスする」という意味の動詞です。I like to listen to music to relax after a long day at work. (仕事で長い一日を過ごした後は、音楽を聴いてくつろぐのが好きだ) のように使います。② **work** は「働く」、③ **hurry** は「急ぐ」、④ **worry** は「心配する」という意味で、いずれも **relax** とは逆の、心身が緊張する状態を表す言葉です。

◆補足：**relax** から派生した形容詞、**relaxed** と **relaxing** の使い分けは重要です。人が「くつろいだ」気分であることを表す場合は、I feel relaxed. のように **relaxed** を使います。一方、音楽や場所などが「人をくつろがせるような」性質を持っている場合は、This music is very relaxing. のように **relaxing** を使います。名詞形は **relaxation** (くつろぎ) です。

18.

解答 ③

【解説】

正解は③「作物、収穫物」です。**crop** は、農家が販売や食料のために大量に栽培する植物、すなわち「作物」を指します。米、小麦、トウモロコシなどがその代表例です。Rice is the main crop grown in this area. (米が、この地域で栽培されている主要な作物です) のように使います。①「農場」は **farm**、②「肥料」は **fertilizer**、④「土壌」は **soil** が対応します。

◆補足：**crop** は、栽培される「作物」だけでなく、その「収穫高」や「収穫物」そのものを指すこともあります。a good crop of wheat (小麦の豊作) のように使います。また、動詞としては「(髪などを) 短く刈る」や、「(写真などを) 切り取る、トリミングする」といった意味があります。SNSなどで写真を加工する際の「クロップ」はこの動詞から来ています。

19.

解答 ④

【解説】

正解は④「服」です。**clothes** は、人々が日常的に身につけるシャツ、ズボン、ドレスなどの「服、衣服」を指す最も一般的な単語です。この単語は常に複数形で扱われ、単数形はありません。I need to buy some new clothes for the trip. (旅行のために新しい服をいくつか買う必要がある) のように使います。①「流行」は **fashion**、②「布」は **cloth**、③「制服」は **uniform** が対応します。

◆補足：**clothes** は常に複数扱いのため、動詞は複数形に一致します(例：My clothes are wet.)。一枚の服を指したい場合は、a piece of clothing や an item of clothing のように表現します。"a clothe" という言い方はできないので注意が必要です。先に学んだ **clothing** (衣類) がフォーマルで集合的な総

称であるのに対し、clothes はより日常的で、個人が身につける具体的なアイテムを指すニュアンスが強いです。

20.

解答 ④

【解説】

正解は④「不動産」です。real-estate は、土地や建物といった、動かすことのできない資産、すなわち「不動産」を指します。He made a fortune in the real-estate business. (彼は不動産業で財を成した) のように使います。①「天然資源」は natural resources、②「株式市場」は stock market、③「仮想現実」は virtual reality が対応します。

◆補足：real-estate の real は、「本物の」という意味の他に、法律用語として「(動産に対して) 不動の」という意味があります。estate は「財産、地所」を意味するため、二つ合わせて「動かさない財産」つまり「不動産」となります。不動産を扱う業者や会社のことは a real-estate agent や a real-estate agency と呼びます。

21.

解答 ④

【解説】

正解は④「貯金」です。saving は、通常 savings と複数形で使われ、将来のために取っておいたお金、すなわち「貯金、預金」を意味します。I used up all my savings to buy a new car. (私は新車を買うために、貯金をすべて使い果たした) のように使います。①「投資」は investment、②「費用」は cost、③「収入」は income が対応する単語です。

◆補足：saving は、動詞 save (～を貯める、節約する) から派生した名詞です。単数形の a saving は「節約 (になるもの)」という意味で使われることがあります。Using LED bulbs is a great energy saving. (LED 電球を使うことは、素晴らしいエネルギーの節約になる)。しかし、お金の「貯金」を指す場合は、複数形の savings が使われるのが一般的です。

22.

解答 ④

【解説】

正解は④の unusual です。unusual は、普通ではない、標準的ではない、すなわち「珍しい、異常な、非凡な」という意味の形容詞です。It is unusual for him to be late for meetings. (彼が会議に遅れるなんて珍しい) のように使います。① normal は「標準的な」、② regular は「規則的な」、③ usual は「いつもの」という意味で、いずれも unusual の対義語にあたる言葉です。

◆補足：unusual の接頭辞 un-は、否定を表し「not」と同じ意味を持ちます。usual（いつもの）に un-が付くことで、「いつものではない」→「珍しい」という意味になります。このように、接頭辞 un-が付くことで反対の意味になる単語は、unhappy（不幸せな）、unable（できない）、unimportant（重要でない）など、数多く存在します。

23.

解答 ①

【解説】

正解は①の make up for ~です。この句動詞は、自分が与えた損害や迷惑、あるいは不足している何かを、別の良い行いや物で「補う、埋め合わせをする」という意味です。I sent her some flowers to make up for my mistake.（私は自分の過ちの埋め合わせをするために、彼女に花を送った）のように使います。② put up with ~は「～を我慢する」、③ do away with ~は「～を廃止する」、④ look up to ~は「～を尊敬する」という意味です。

◆補足：make up for ~の up は「完全に」という強調のニュアンスを持っています。make for ~だけでも「～の埋め合わせをする」という意味にはなりますが、up を加えることで、不足分を「完全に」補うという気持ちがより強く表現されます。失われた時間（lost time）や、迷惑をかけたこと（trouble）などを目的語にとることが多い表現です。

24.

解答 ②

【解説】

正解は②「旅行」です。trip は、ある場所へ行って帰ってくる一連の行為、すなわち「旅行」を指す最も一般的な単語です。数えられる名詞として使われます。How was your trip to Kyoto?（京都への旅行はどうでしたか？）のように使います。①「観光」は sightseeing、③「移動」は travel や movement、④「探検」は expedition が対応します。

◆補足：trip は、a business trip（出張）、a day trip（日帰り旅行）、a round-trip ticket（往復切符）のように、様々な種類の旅行を表すのに使われます。先に学んだ tour が「周遊」という点に焦点があるのに対し、trip は単純に行って帰ってくる一回の旅程を指します。また、take a trip で「旅行に行く」という熟語になります。

25.

解答 ①

【解説】

正解は①「家事」です。housework は、掃除、洗濯、料理、買い物といった、家を維持するために行う日常的な仕事、すなわち「家事」を指す言葉です。I spent the whole morning doing housework.

(私は午前中ずっと家事をして過ごした) のように使います。②「宿題」は **homework**、③「手作業」は **manual labor**、④「事務作業」は **paperwork** が対応します。

◆補足：housework は、house (家) と work (仕事) が結びついた複合語で、意味が分かりやすいですね。この単語は、数えられない名詞 (不可算名詞) として扱われるのが一般的です。そのため、a housework や many houseworks とは言いません。家事を「する」は do the housework と言います。

26.

解答 ②

【解説】

正解は②の **interaction** です。**interaction** は、二人以上の人々や物事が、互いに影響を及ぼし合うこと、すなわち「相互作用、交流」を意味します。This book discusses the interaction between humans and their environment. (この本は、人間と環境の間の相互作用について論じている) のように使います。① **reaction** は「反応」、③ **relation** は「関係」、④ **impression** は「印象」という意味です。

◆補足：interaction の接頭辞 **inter-** は、「～の間で、相互に」という意味を持ちます。action (行動) に **inter-** が付くことで、「相互の行動」つまり「相互作用」となります。**international** (国際的な) や **internet** (インターネット) の **inter-** も同じ働きをしています。動詞形は **interact** (相互に作用する、交流する) で、**interact with ~** (～と交流する) の形でよく使われます。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①の **at times** です。この表現は、**sometimes** や **occasionally** と同じく、「時々、時には」という意味を表す副詞句です。At times, I wonder if I made the right decision. (時々、私は正しい決断をしたのだろうかと思うことがある) のように、文頭や文末で使われます。② **at once** は「すぐに」、③ **at last** は「ついに」、④ **at least** は「少なくとも」という意味で、いずれも **at** を用いた重要表現ですが意味は異なります。

◆補足：at times は、sometimes よりも少しフォーマルで、文学的な響きを持つことがあります。継続的ではないが、たまに何かが起こるという状況を描写するのに適しています。似た表現に **from time to time** がありますが、これも「時々」という意味で互換的に使えます。

28.

解答 ①

【解説】

正解は①「現金」です。**cash** は、紙幣や硬貨といった、物理的な形態のお金、すなわち「現金」を指します。Do you have any cash with you? (現金はいくらか持っていますか?) のように使います。②

「小切手」は check、③「預金」は deposit、④「クレジットカード」は credit card で、いずれも決済手段やお金の形態ですが、「現金」そのものではありません。

◆補足：cash は、他の支払い方法と対比して使われることが多いです。I'd like to pay in cash. (現金で支払いたいです) や、Sorry, we don't accept credit cards. Cash only. (すみません、クレジットカードは使えません。現金のみです) といった表現は、店での会話で頻繁に使われます。形容詞としても使うことができ、a cash payment (現金払い) のように使います。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④「給料が良い」です。この表現は、主語となる仕事や会社が「良い給料を支払う、待遇が良い」ことを意味します。It's a demanding job, but it pays well. (それはきつい仕事だが、給料は良い) のように、主語には仕事や企業が来ることが一般的です。①「費用がかかる」は cost a lot、②「儲かっている」は be profitable、③「支払いが遅い」は pay late などと表現できます。

◆補足：pay well の主語は「仕事」や「会社」である点に注意が必要です。人が主語になって「(人が) 給料が良い」と言いたい場合は、be well-paid という受動態の形を使います。例えば、He is a well-paid lawyer. (彼は高給取りの弁護士だ) のように表現します。pay well は能動態で「(仕事) が良い給料を支払う」、be well-paid は受動態で「(人が) 良い給料を支払われている」という関係性を理解しておきましょう。

30.

解答 ③

【解説】

正解は③の far from ~です。この表現は、文字通り「～から遠い」という意味から転じて、「全く～ではない、～どころではない」という強い否定を表すイディオムとして使われます。His explanation was far from clear. (彼の説明は、明確とは到底言えなかった) のように、形容詞などを伴って使われます。①と④はほぼ同じで「～は別として、～に加えて」、②は「～から離れて」という意味です。

◆補足：far from ~は、not at all ~とほぼ同じ意味ですが、より強調的で、しばしば皮肉や意外性を込めて使われます。「期待や理想からかけ離れている」というニュアンスが根底にあります。far from perfect (完璧には程遠い) や far from over (終わりには程遠い) といった形で、非常によく使われます。

31.

解答 ④

【解説】

正解は④の **construct** です。**construct** は、建物、橋、道路といった、比較的大きな構造物を「建設する、建造する」という意味で使われる動詞です。The government plans to construct a new bridge over the river. (政府はその川に新しい橋を建設する計画だ) のように用います。① **destroy** は「～を破壊する」という対義語、② **design** は「～を設計する」、③ **decorate** は「～を装飾する」という意味で、建設のプロセスの一部ではありますが、建設そのものを指すわけではありません。

◆**補足**：**construct** は、一般的な「建てる」を意味する **build** よりも、よりフォーマルで、技術的なニュアンスが強い言葉です。語源はラテン語の **con-** (共に) と **struere** (積み上げる) で、「共に積み上げて造る」というイメージを持つと、大規模な建造物に使われる理由が理解しやすくなります。名詞形は **construction** (建設)、形容詞形は **constructive** (建設的な) で、**a constructive opinion** (建設的な意見) のように使われます。

32.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を表現する」です。**express** は、自分の考え、感情、意見などを、言葉や態度、芸術などを通じて外部に「表現する、表す」という意味の動詞です。It is sometimes difficult to express your true feelings. (時に、本当の気持ちを表現するのは難しい) のように使います。②「～を無視する」は **ignore**、③「～を調査する」は **investigate**、④「～を隠す」は **hide** で、**hide** は **express** の対義語にあたります。

◆**補足**：**express** の語源は、ラテン語の **ex-** (外へ) + **press** (押す) で、「内にあるものを外へ押し出す」というイメージです。このイメージから、「感情を外へ表す」という意味が生まれました。また、この単語には「急行の」という形容詞や「急行列車」という名詞の意味もあります。**an express train** (急行列車) のように使われることも覚えておくと良いでしょう。

33.

解答 ②

【解説】

正解は②の **fill out** ~ です。この句動詞は、申込用紙やアンケートなどの書類の空欄に必要な情報を書き込んで「～に記入する、～をすべて埋める」という意味で使われます。Please fill out this application form and return it to us. (この申込用紙にご記入の上、ご返送ください) のように用います。① **figure out** ~ は「～を理解する」、③ **find out** ~ は「～を見つけ出す」、④ **fill up** ~ は「～を満タンにする」という意味です。

◆**補足**：**fill out** ~ と **fill up** ~ は、形が似ていて混同しやすいため注意が必要です。**fill out** は書類の空欄を「情報で埋める」場合に、**fill up** はコップやガソリントankなどの容器を「液体などで満たす」場合に用います。また、特にイギリス英語では、書類への記入に **fill in** ~ という表現もよく使われます。

34.

解答 ④

【解説】

正解は④の **turn down** ~です。この句動詞は、人からの申し出、要求、招待などを「断る、拒絶する」という意味で使われます。He turned down the job offer because the salary was too low. (彼は給料が低すぎるという理由で、その仕事の申し出を断った) のように用います。① **take on** ~は「~を引き受ける」、② **put off** ~は「~を延期する」、③ **give up** ~は「~をあきらめる」という意味です。

◆補足：**turn down** ~は、**refuse** よりも口語的で、**reject** よりも響きが柔らかい「断る」の表現として日常会話で頻繁に使われます。また、この句動詞には「(ラジオの音量や暖房の温度など) を小さくする、下げる」という全く異なる意味もあります。Could you turn down the music? (音楽の音量を下げてくださいませんか?)。文脈によってどちらの意味かを判断する必要があります。

35.

解答 ③

【解説】

正解は③「どちらか一方」です。**either** は、二つの選択肢のうち「どちらか一方」を指す際に使われる代名詞・限定詞です。You can choose either the blue one or the red one. (青いのと赤いの、どちらか一方を選べます) のように使います。①「両方」は **both**、②「全て」は **all**、④「どちらも~ない」は **neither** が対応し、これらはセットで覚えるべき重要な単語です。

◆補足：**either** は、**either A or B** (A か B のどちらか) という形で、接続詞として使われることが非常に多いです。また、否定文の最後で、「~もまた (…ない)」という意味の副詞としても使われます。If you don't go, I won't go either. (もしあなたが行かないなら、私も行きません)。肯定文での **too** と同じ働きをします。

36.

解答 ③

【解説】

正解は③の **give birth to** ~です。この表現は、母親が子供を「出産する、産む」という行為を表す最も一般的な言い方です。My grandmother gave birth to five children. (私の祖母は5人の子供を産んだ) のように使います。① **bring up** ~は「~を育てる」、② **take care of** ~は「~の世話をする」という意味で、出産後の行為を指します。④ **be born** は「生まれる」という受け身の表現で、子供の視点から述べるときに使います。

◆補足：**give birth to** ~は、母親が主語になる能動的な表現です。一方、**be born** は子供が主語になる受動的な表現です。例えば、She gave birth to a healthy baby. (彼女は健康な赤ちゃんを産んだ) と I

was born in Tokyo. (私は東京で生まれた) のように、主語によって使い分けられます。この能動と受動の関係をしっかり理解しておくことが重要です。

37.

解答 ④

【解説】

正解は④の **bump** です。**bump** は、不注意などから、人や物に「偶然こつんとぶつかる、突き当たる」という、比較的軽い衝突を表す動詞です。I wasn't looking where I was going and bumped into the wall. (私はどこを歩いているか見ておらず、壁にぶつかってしまった) のように使います。① **strike** は「～を強く打つ」、② **touch** は「～に触れる」、③ **push** は「～を押す」という意味です。

◆**補足**：**bump into** ~という句動詞の形で、「(人に) 偶然出会う、ばったり会う」という意味で使われることが非常に多いです。I bumped into an old friend at the supermarket yesterday. (昨日、スーパーで旧友にばったり会った)。これは **run into** ~とほぼ同じ意味で、日常会話で頻繁に使われる重要表現です。

38.

解答 ④

【解説】

正解は④の **tour** です。**tour** は、楽しみのためにいくつかの異なる場所を順番に訪れる旅行、特に「周遊旅行」や、特定の場所を見て回る「見学、ツアー」を指します。We went on a guided tour of the city. (私たちはその都市のガイド付きツアーに参加した) のように使います。① **voyage** は「船旅、航海」、② **trip** は「(比較的短い) 旅行」、③ **travel** は「旅行 (という行為全般)」を意味します。

◆**補足**：**tour**, **trip**, **travel** の使い分けは重要です。**tour** は、複数の目的地を巡る計画的な旅や、専門家が案内する見学を指します。a concert tour (コンサートツアー) のように、興行で各地を巡ることに使われます。**trip** は、ある場所へ行って帰ってくる一回の「旅行」を指す最も一般的な単語です。**travel** は、数えられない名詞で、「旅行という行為そのもの」を指す抽象的な言葉です。

39.

解答 ①

【解説】

正解は①「返事」です。**reply** は、質問、手紙、メールなどに対する「返答、返事」を意味する名詞です。I'm still waiting for a reply to my email. (私はまだEメールへの返事を待っている) のように使います。②「質問」は **question**、③「招待」は **invitation**、④「提案」は **suggestion** が対応します。

◆**補足**：**reply** は、動詞としても「返事をする」という意味で使われます。He hasn't replied to my letter yet. (彼はまだ私の手紙に返事をくれていない)。類義語の **answer** よりも、手紙やメール、公式

な質問など、特定のコミュニケーションに対する「応答」というニュアンスが強いです。in reply to ~ (～への返事として) という前置詞句も重要です。

40.

解答 ②

【解説】

正解は②の **clothing** です。**clothing** は、体を覆うものの全般を指す集合的な名詞で、「衣類、衣料品」と訳されます。**clothes** よりもフォーマルな響きを持ち、産業や分類として話すときに使われることが多いです。This store sells women's clothing. (この店は婦人服を販売している) のように使います。① **costume** は「衣装」、③ **cloth** は「布、生地」、④ **clothes** は「(日常の) 服」を意味します。

◆**補足**：**clothing**, **clothes**, **cloth** の三つの単語は非常に紛らわしいので、正確に区別することが重要です。**clothing** は数えられない名詞 (不可算名詞) で、衣類全般を指す総称です。**clothes** は常に複数形で使い、具体的な「服」を指します。**cloth** は服を作るための「布、生地」を指す物質名詞 (不可算名詞) ですが、**a cloth** となると「ふきん」という意味の可算名詞になります。

41.

解答 ②

【解説】

正解は②の **create** です。**create** は、それまで存在しなかった新しいものを、想像力や技術を使って「創造する、作り出す」という意味の動詞です。The artist created a beautiful sculpture from a piece of wood. (その芸術家は、一本の木から美しい彫刻を創造した) のように使います。① **copy** は「～を模倣する」、③ **discover** は「～を発見する」、④ **destroy** は「～を破壊する」という対義語です。

◆**補足**：**create** は、単に **make** (作る) と言うよりも、独創性や芸術性といったニュアンスを強調したときに使われます。神が世界を「創造する」という文脈でも使われる、スケールの大きな動詞です。関連語として、**creation** (創造物)、**creator** (創造主)、**creative** (創造的な) があり、いずれも重要な単語です。

42.

解答 ②

【解説】

正解は②「責任」です。**responsibility** は、自分の仕事や行動の結果に対して負うべき「責任、責務」を意味する名詞です。It is your responsibility to complete the task on time. (時間内にその仕事を完了させることが、あなたの責任です) のように使います。①「権利」は **right**、③「機会」は **opportunity**、④「能力」は **ability** が対応する単語です。

◆補足：responsibility は、形容詞 responsible（責任がある）の名詞形です。take responsibility for ~（～に対する責任を取る）という形で非常によく使われます。また、responsibilities と複数形になると、特定の役職や地位に伴う具体的な「職務、任務」を指すこともあります。What are the main responsibilities of this position?（この役職の主な職務は何ですか？）。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①「要請」です。request は、何かを丁重に、あるいは公式に求めること、すなわち「要請、頼み」を意味する名詞です。All requests for information must be made in writing.（すべての情報提供の要請は、書面にて行われなければならない）のように使います。②「質問」は question、③「招待」は invitation、④「命令」は order や command が対応します。

◆補足：request は、動詞としても「～を要請する」という意味で使われます。We requested that a meeting be held as soon as possible.（私たちは、できるだけ早く会議が開かれるよう要請した）。動詞 ask よりもフォーマルな響きを持ち、ビジネスや公的な場面で好まれます。make a request（要請する）という形で使われることも多いです。

44.

解答 ①

【解説】

正解は①の fame です。fame は、多くの人々に知られ、話題にされている状態、すなわち「名声、著名」を意味します。She moved to a small town to escape from her fame.（彼女は名声から逃れるために、小さな町へ引っ越した）のように使います。② fortune は「財産、幸運」、③ honor は「名誉、敬意」、④ pride は「誇り、プライド」という意味で、いずれも成功に伴うポジティブな概念ですが、意味は異なります。

◆補足：fame は、形容詞 famous（有名な）の名詞形です。この関係性を知っていると覚えやすいでしょう。類義語の reputation（評判）は、良いか悪いかという「評価の内容」に焦点があるのに対し、fame は、良いか悪いかは別として、単に「広く知られていること」そのものに焦点があります。そのため、He achieved both fame and fortune.（彼は名声と富の両方を手に入れた）のように、fortune（富）と並べて使われることもよくあります。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を除いて」です。**except** は前置詞または接続詞として、全体の中から特定のもののだけを取り除く「～を除いて、～以外は」という意味を表します。**Everyone passed the exam except for Tom.**（トムを除いて、全員が試験に合格した）のように使います。①「～の代わりに」は **instead of**、②「～にもかかわらず」は **in spite of**、③「～に加えて」は **in addition to** が対応します。

◆補足：**except** は、**except for** や **except that...** の形でもよく使われます。**except for** は後ろに名詞句が続き、**except that...** は後ろに節（主語＋動詞）が続きます。類義語に **apart from** がありますが、これは文脈によって「～に加えて」と「～を除いて」の両方の意味を持つことがあるため、**except** の方が意味が明確です。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③の **plenty of** です。この表現は、「十分すぎるほどの、たくさんの～」という意味で、必要量を満たしている、あるいはそれ以上にあるという豊かな状態を示します。**Don't worry, we have plenty of time.**（心配しないで、時間はたっぷりあります）のように使います。① **a lack of** ～は「～の不足」、② **a variety of** ～は「様々な～」、④ **a few of** ～は「少数の～」という意味です。

◆補足：**plenty of** ～は、**a lot of** ～や **lots of** ～と意味が非常に似ていますが、「豊富にある」というポジティブなニュアンスをより強く含みます。また、**a lot of** ～と同様に、後ろには数えられる名詞（可算名詞）も数えられない名詞（不可算名詞）も両方置くことができます。例えば、**plenty of books**（たくさんの本）や **plenty of water**（たくさんの水）のように使えます。

47.

解答 ①

【解説】

正解は①「一列に並んで」です。**in line** は、人々が順番を待つために「一列に並んでいる」状態を表します。**We had to wait in line for an hour to buy the tickets.**（私たちはそのチケットを買うために、1時間列に並んで待たなければならなかった）のように使います。②「無料で」は **for free**、③「故障中で」は **out of order**、④「順番を間違えて」は **out of turn** などで表現できます。

◆補足：**in line** は主にアメリカ英語で使われ、イギリス英語では **in a queue** と言うのが一般的です。**get in line** で「列に並ぶ」という動作を表します。また、**be in line with** ～の形で、「～と一致している、沿っている」という比喩的な意味で使われることもあります。**Your proposal is in line with our company's policy.**（あなたの提案は、わが社の方針に沿っています）。

48.

解答 ①

【解説】

正解は①「割引」です。discount は、通常価格からの値引き、すなわち「割引」を意味する名詞です。They are offering a 10% discount on all products this week. (今週、彼らは全品 10%割引で提供している) のように使います。②「返金」は refund、③「景品」は free gift や giveaway、④「追加料金」は extra charge が対応します。

◆補足：discount は、動詞として「～を割り引く」という意味でも使われます。The store discounted the price of last season's clothes. (その店は、昨シーズンの服の価格を割り引いた)。get a discount (割引を受ける)、ask for a discount (割引を求める) といった形で、買い物に関する会話で頻繁に使われます。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①「製品」です。product は、工場などで生産され、市場で販売される「製品、産物」を指します。This company is famous for its high-quality electronic products. (この会社は質の高い電子製品で有名だ) のように使います。②「サービス」は service で、形の無い労働の提供を指します。③「原料」は raw material、④「広告」は advertisement が対応します。これらは経済活動における重要な要素ですが、「製品」そのものではありません。

◆補足：product は、動詞 produce (～を生産する) の名詞形です。語源はラテン語の pro- (前方へ) + ducere (導く) で、「前へ導き出されたもの」というイメージから「産物、製品」という意味になりました。また、数学の文脈では掛け算の「積」という意味でも使われます。The product of 2 and 3 is 6. (2 と 3 の積は 6 です)。

50.

解答 ③

【解説】

正解は③の hand in ~です。この句動詞は、宿題、レポート、辞表などを、先生や上司といった権威のある人に手で渡して「～を提出する」という意味で使われます。All students must hand in their essays by Friday. (全ての学生は、金曜日までにエッセイを提出しなければならない) のように使います。① hand over ~は「～を引き渡す」、② hand down ~は「(伝統など) を伝える」、④ hand out ~は「～を配布する」という意味です。

◆補足：hand in ~と似た表現に turn in ~がありますが、意味はほぼ同じで、どちらも「提出する」という意味で使えます。よりフォーマルな文脈では submit という動詞が好まれます。対照的に、hand out ~は先生が生徒にプリントを「配る」ような、上から下への配布を表すので、混同しないようにしましょう。
